

平成 年 月 日

陳 述 書 (本人用)

大阪地方裁判所 ☐第6民事部 御中
☐ 支部

この陳述書の内容は、事実と相違ありません。

申 立 人

印

司法書士

第 1 申立人の経歴等

1 職歴（現在から申立ての7年前まで）

就業期間 就業先（会社名等）	事 由 地位・業務の内容	平均月収 （円）
年 月～ 現 在	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円
年 月～ 年 月	☐ 勤め ☐ パート等 ☐ 自営 ☐ 法人代表者 ☐ 無職	円

2 結婚、離婚歴等

時 期	相手方の氏名	事 由
年 月		☐ 結婚 ☐ 離婚 ☐ 内縁 ☐ 内縁解消 ☐ 死別
年 月		☐ 結婚 ☐ 離婚 ☐ 内縁 ☐ 内縁解消 ☐ 死別
年 月		☐ 結婚 ☐ 離婚 ☐ 内縁 ☐ 内縁解消 ☐ 死別
年 月		☐ 結婚 ☐ 離婚 ☐ 内縁 ☐ 内縁解消 ☐ 死別

3 配偶者、同居者並びに別居の親及び子の状況

氏 名	続柄	年齢	職業・学年	同居・別居	平均月収(円)
				☐ 同 ☐ 別	円
				☐ 同 ☐ 別	円
				☐ 同 ☐ 別	円
				☐ 同 ☐ 別	円
				☐ 同 ☐ 別	円
				☐ 同 ☐ 別	円

4 現在の住居の状況（居住する家屋の形態等）

- ☐民間賃貸住宅（賃借人＝申立人）
- ☐公営住宅（賃借人＝申立人）
- ☐持ち家（☐一戸建・☐マンション）（所有者＝申立人）
- ☐申立人以外の者（氏名 _____，申立人との関係 _____）
（の☐所有・☐賃借）の家屋（無償で居住）
- ☐その他 _____

5 家計の状況

別添家計収支表のとおり

第2 破産申立てに至った事情（債務増大の経緯及び支払ができなくなった事情）

1 多額の借金（以下、特に断らない限り、ここでのいう借金には、連帯保証による債務やクレジットカード利用による債務なども含む。）をした理由は、次のとおりです（複数選択可）。

- ☐生活費不足
- ☐住宅ローン
- ☐教育費
- ☐浪費等（飲食・飲酒，投資・投機，商品購入，ギャンブル等）
- ☐事業（店）の経営破綻（ネットワークビジネス・マルチ商法等の破綻も含む。）
- ☐他人（会社，知人等）の債務保証
- ☐その他 _____

2 借金を返済できなくなったきっかけは、次のとおりです（複数選択可）。

- ☐収入以上の返済金額
- ☐解雇
- ☐給料の減額
- ☐病気等による入院
- ☐その他 _____

3 支払不能になった時期は、平成____年____月ころであり、そのころの月々の約定返済額は、計_____円です。

第3 免責不許可事由に関する報告

- 1 浪費等（当時の資産・収入に見合わない過大な支出又は賭博その他の射幸行為をしたことの有無 破産法252条1項4号関係） 【☐有 ☐無】

	内 容	時 期	回数・品名等	金 額 等
☐	飲 食 飲 酒 (概ね1回 2万円以上 のもの)	年 月 ～ 年 月	回／月 (多い月で 回)	円／月 (多い月で 円) 合計 円
☐	投資・投機及びネ ットワークビジネ ス・マルチ商法等	年 月 ～ 年 月 年 月 ～ 年 月	☐ 不動産 ☐ 株式 ☐ 商品取引 ☐ その他 () ☐ 不動産 ☐ 株式 ☐ 商品取引 ☐ その他 ()	合計 円 損をした額 円
☐	商品購入 (自動車, 電器製品, 貴金属, 衣服, 健康用品 等) (過去3年 間 購入価 格10万円 以上)	年 月 ----- 年 月 ----- 年 月 ----- 年 月	品名 ----- 品名 ----- 品名 ----- 品名	円 (現在ある場所) ----- 円 (現在ある場所) ----- 円 (現在ある場所) ----- 円 (現在ある場所)
☐	ギャンブル			
	☐ パチンコ パチスロ	年 月 ～ 年 月	回／月 (多い月で 回)	円／月 (多い月で 円) 合計 円
	☐ 競馬 ☐ 競輪 ☐ 競艇	年 月 ～ 年 月	回／月 (多い月で 回)	円／月 (多い月で 円) 合計 円
	☐ その他 (麻雀、宝くじ等)	年 月 ～ 年 月	回／月 (多い月で 回)	円／月 (多い月で 円) 合計 円
☐	その他 	年 月 ～ 年 月	回／月 (多い月で 回)	円／月 (多い月で 円) 合計 円

- 2 廉価処分（信用取引によって商品を購入し著しく不利な条件で処分したことの有無 破産法252条1項2号関係） 【□有 □無】

品 名	購入時期	購入価格	処分時期	処分価格

- 3 偏頗行為（支払不能になっていることを知りながら、一部の債権者に偏頗的な行為（非本旨弁済等）をしたことの有無 破産法252条1項3号関係） 【□有 □無】

時 期	相手の氏名等	非本旨弁済額
		円
		円

- 4 詐術（破産申立前1年以内に、他人の名前を勝手に使ったり、生年月日、住所、負債額及び信用状態等について誤信させて、借金をしたり信用取引をしたことの有無 破産法252条1項5号関係） 【□有 □無】

時 期	相手の氏名等	金額	詐 術 の 態 様
		円	
		円	
		円	

- 5 過去の免責等に関する状況（破産法252条1項10号関係）

- ① 申立前7年以内に破産免責手続を利用して免責の決定が確定したこと

【□有 □無】

_____地方裁判所_____支部

平成_____年・第_____号 ・ 平成_____年・第_____号

免責決定確定日 平成_____年_____月_____日

- ②ア 申立前7年以内に給与所得者再生手続を利用して、再生計画に定められた弁済を終了したこと 【□有 □無】

- イ 申立前7年以内に再生手続を利用したが、再生計画の遂行が極めて困難となり、免責の決定を受けたこと 【□有 □無】

_____地方裁判所_____支部 平成_____年（再 ）第_____号

再生計画認可決定確定日 平成_____年_____月_____日

（イの場合のみ）平成_____年・第_____号

- 6 その他破産法所定の免責不許可事由に該当する行為の有無 【☐有 ☐無】
その具体的行為

- 7 上記1から6に記載した場合であっても、免責不許可事由に該当しない、又は裁量により免責され得る事情の有無 【☐有 ☐無】
その具体的事由

- 8 債権調査票に具体的事実を指摘した意見の記載があったときは、それに対する反論（債権者一覧表の債権者番号・債権者名を特定して記載してください。）
